

市内中小企業デジタル化の実態

調査概要

【アンケート】 市内企業2,000社を対象に、デジタル化推進の現状と課題、DX推進に向けた取組意向等について把握。令和4年8月実施。回収553サンプル(回収率27.7%)

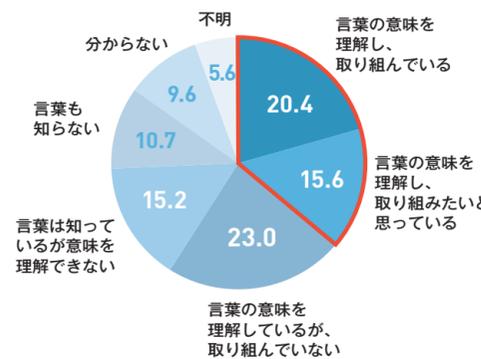
【ヒアリング】 アンケート回答企業のうち、DX推進に向けた取組意向を持った企業へ、アンケート内容の詳細内容、うべ中小企業等DX研究会への関心等についての聞き取り。

調査結果

DXの理解度

約4割がDXを理解し取り組んでいる/取り組みたいと思っている

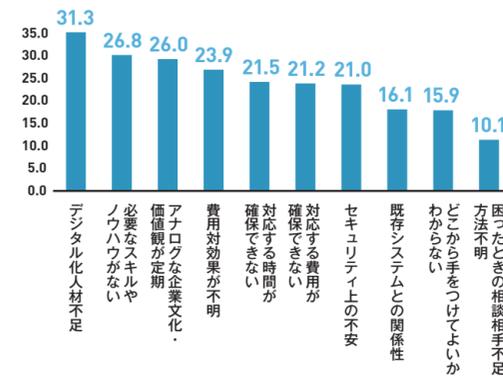
DX理解度 N=553 (%)



デジタル化への課題

人材、スキルやノウハウ不足など

デジタル化への課題(上位10項目) N=553



ヒアリングでの具体的なデジタル化課題(例)

そもそもどこからDXを進めて行けばいいのかわからない



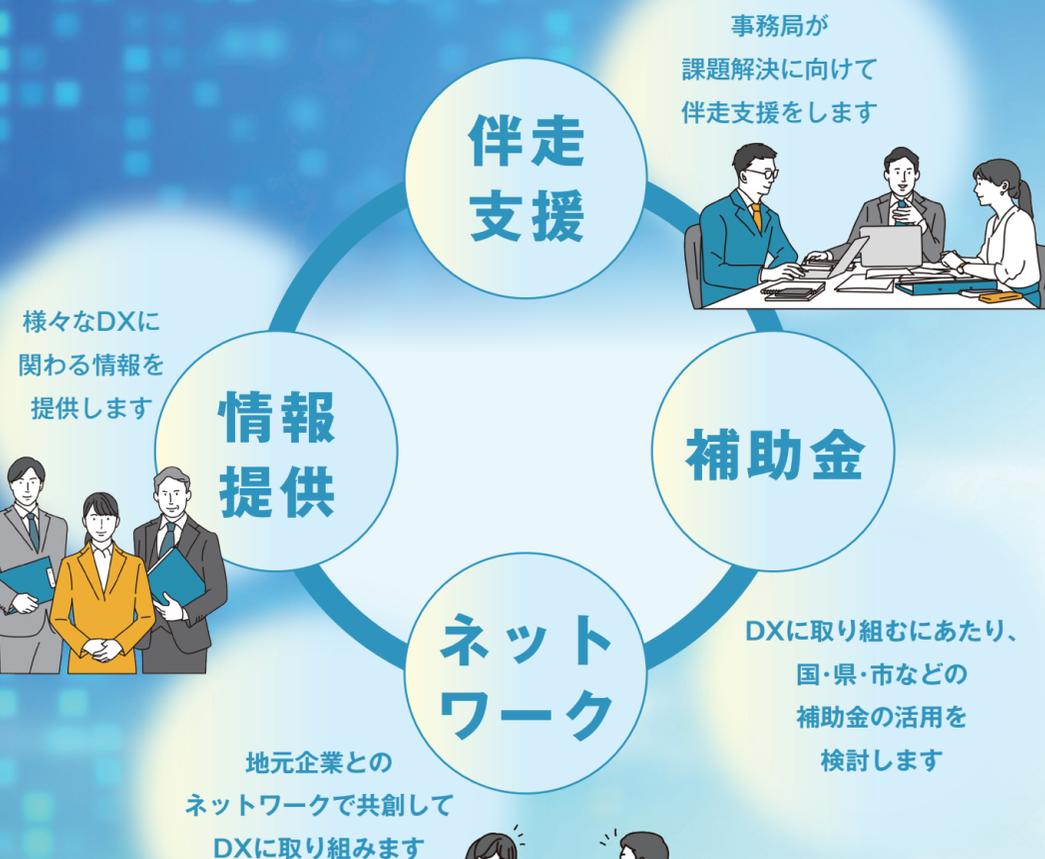
取引先とのやり取りは、アナログとデジタルが混在している



生産管理、在庫管理は手作業で行っており、属人化している



うべ中小企業等DX研究会サポート体制



うべ中小企業等DX研究会

～うべの中小企業DX うべで中小企業DX～

市ウェブサイト



うべ中小企業等DX研究会事務局
〒755-8601 宇部市常盤町一丁目7番1号
宇部市 産業経済部 商工振興課
TEL: 0836-34-8355
MAIL: syoukou@city.ube.yamaguchi.jp



2023年3月 宇部市

うべ中小企業等DX研究会とは？

背景

中小企業等を取り巻く環境や課題を踏まえ、デジタル化を推進する必要性が高まっている。

目的

市内の中小企業が、自らDXを理解し取り組んでいける環境づくりとネットワークづくりを推進すること。

活動イメージ

セミナーやワークショップの開催により情報提供を行うとともに、伴走支援による課題の整理と実施計画案を策定し、具現化へ取り組む。

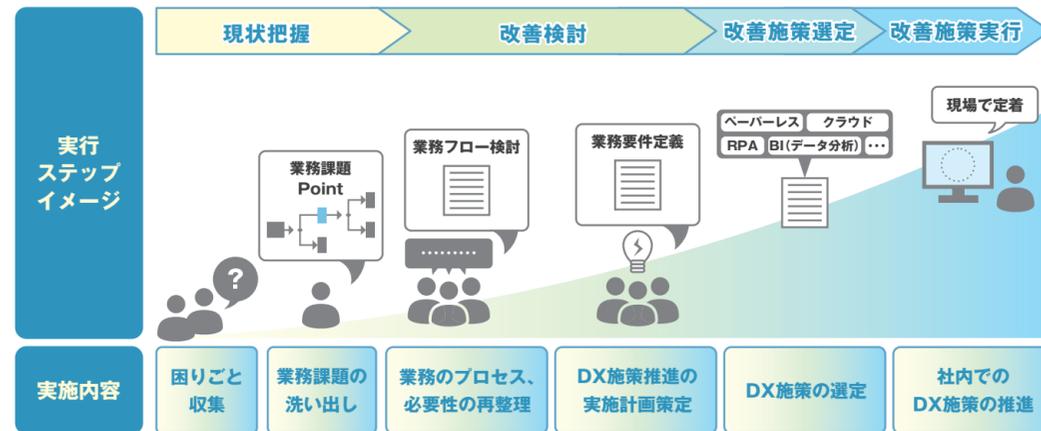
会員数

約20社(令和5年3月1日現在)
建設業、製造業、卸売業、生活関連サービス業、運輸業、医療・福祉業、専門・技術サービス業、不動産業 など



うべ中小企業等DX研究会の進め方

本研究会では、以下の流れで伴走支援を行っていきます。



STEP 1

【困りごと、ニーズの収集・把握】

自社で抱えている課題、
困りごとを事務局とアンケートやヒアリングを通じて、聞き取り

STEP 2

【業務課題の洗い出し】

課題を整理し、企業の業務フローに落とし込む

【業務プロセス、必要性の再整理】

業務プロセスの必要性と解決ポイントの整理をする

STEP 3

【DX実施計画策定】

課題解決に向けた方策の検討を行い、実施計画書の作成を行う

STEP 4

【DX施策の選定・推進】

実施計画から自社の実装施策を選定し、社内での取り組みを進めていく

うべ中小企業等DX研究会の成果例

伴走支援による業務の洗い直しと分析を行い、課題解決に向けたDX実施計画書を作成

うべ中小企業等DX研究会 ワークシート(実施計画書)

DXの推進によって実現したいこと

抱えている困りごと、課題

業務課題の整理

困りごと、課題の業務フロー

見直したい業務課題のポイント

実施方針(案)

実施スケジュール(イメージ)

実施内容(個別調整での整合案)



作成した実施計画書を元に、各企業が実装フェーズに進む

業種	来期実装の概要(案)
製造業	ノーコードツールを活用した顧客データ管理の効率化推進
卸売業	ノーコードツールを活用した在庫管理と全体進捗の管理
卸売業	在庫管理中心に既存システムとノーコード等のツールの連携
生活関連サービス業	ノーコードツールを活用した発注業務の自動処理等
製造業	動画マニュアル作成、ノーコード等活用した受注ツール導入
医療・福祉	ノーコードツールを活用したデータベースの構築
生活関連サービス業	ノーコードツールを活用した自社HPの作成から実装推進
不動産業、サービス業	既存デジタルツールを活用した経理アナログ作業改善
卸売業	研究会のメンター的な立場で関わるのと事例の提示等
専門・技術サービス業	簡易な数値解析の自動化やナレッジDB型サービス提供モデルの構築
医療・福祉	バイタルデータ管理等ツールの開発